



58年度千葉局経営計画」出される

日刊 動労千葉

83. 4. 19

No. 1319

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七二〇七

運転保安確立・新採確保を申し入れ

四月十五日の団交渉において、千葉局の「五八年度経営計画」が提案されました。この「経営計画」では、「千葉局は黒字」「将来性ある局」だから「もっともうけよう」「もっと働こう」といって、京葉線開業や成田空港乗り入れなど多くのプロジェクトを掲げています。しかし、本質的には、こうした施策の実施を合理化・職場規律の確立・経費の節減など、労働者の犠牲のうえに強行しようとするものです。

動労千葉は、当局の労働者を無視した「経営計画」に抗議するとともに、運転保安確立・新採確保を中心とする要求を明らかにして交渉をうち切りました。

「五八年度千葉局経営計画」の概要

「経営計画」の問題点を指摘

「経営計画」のなかで明らかにされた「プロジェクト概要」と「合理化計画」は次の通りです。

年度	プロジェクト	輸送体系
58	* 千葉駅第4ホーム使用開始	* フリーレント輸送 * ローカル編成見直し * 荷物輸送の見直し
59	* 内房線CTC化	* 快速・普通増発 * 特急列車の見直し
60～62	* 京葉線暫定開業 * 佐倉⇨成田線複線 * 成田空港乗り入れ * 外房線本納⇨上総一宮間複線	* 京葉線部分開業 * 成田空港乗り入れ * 千葉以東フリーレント輸送
63以降	* 京葉線東京乗り入れ	* 京葉線全線開通 * 総武線快速成田延伸

五八年度の主な「合理化計画」の実施概要

* 営業体制近代化	* ヤード入換体制見直し
* 業務量減	* 車両減、貨車交換減に伴う要員見直し
* 要員運用合理化	* 業務量減及び業務見直しに伴う作業・勤務体制の見直し
* 動力車乗務員運用合理化	* 列車削減（燃料輸送終了、59・2貨物削減）に伴う乗務員運用の見直し
* 動力車乗務員勤務等の改正	* 乗務能率の向上 * 労働時間の充実と関係協定等の統合化・簡素化

動労千葉は団交の席上、この「経営計画」の問題点について次の通り指摘しました。

● 第一は、運転保安無視の問題です。

当局の人減らし先行、運転保安無視の政策により、ホームの駅員や線路保守要員不在など、危険な状況がまん延しています。当局は運転保安の抜本的対策を出すべきだ。

● 第二は、要員不足の問題です。

当局は新採をストップしたままで、来年度は四百名の特退をひかえ、来年三月時点での深刻な要員問題にぶちあたすることは明らかです。しかし、この要員問題に何らの対策も立てないままに、多くの施策をうち出しているのです。

当局は、五七年度の採用者を直ちに職員化し、来年度新採を実施すべきだ。

● 第三は、賃金抑制攻撃の問題です。

年末・年度末手当の削減により、国鉄労働者は大変な経済的圧迫をうけています。生活の安定と裏付けがなくて安全輸送はなりたちません。

当局は、五八年度昇給についても、安心して家族を養い、生活が維持できる賃金を認めるべきだ。

● 第四は、労働組合敵視政策の問題です。

当局は、「職場規律の確立」を口実とする「時間内入浴の禁止」や「無料乗車証の廃止」をはじめとする既得権剥奪をくり返しています。

さらに、不当処分を乱発したり、乗車証交付や昇給・昇格・基本給調整額等からめた差別、分断の介入を策動しています。

当局はこうした不当な攻撃をただちにやめるべきだ。

われわれは以上の点を厳しく指摘し、今後の闘いをもって反合・運転保安確立・新採確保の要求をかちとっていきこうではありませんか。

中江選挙闘争に勝利し、反合・春闘を闘いとう。